



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ふれあい

編集・発行

日本赤十字社高知県支部 広報委員会
〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-45
総合あんしんセンター1階
TEL:088-872-6295 FAX:088-872-6299
MAIL:somu@kochi.jrc.or.jp

第50号



最新活動情報はこちらから



苦しむ人びとを、救い続ける。

想像してみてください。
災害により、幸せな暮らしが一瞬にして奪われてしまった人たちのことを。
紛争や貧困により、いのちの危機に瀕している人たちのことを。
日本赤十字社は、国内救護、海外救援、防災・減災の普及啓発など
様々な活動を通して、救うことを続けています。
こうした活動はすべて、皆さまからの会費と
ご寄付によって支えられています。
皆さまのあたたかい想いと共に。
苦しむ人びとを、救い続ける。

活動資金へのご協力を、よろしくお願ひいたします。

赤十字運動月間 | 5.1(Wed) ~ 31(Fri) | 日赤 赤十字運動月間 | 検索

救うことを、つづける。 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Topics

- ★P.2-3 高知県支部にまつわる数字
- ★P.3 「平成30年度高知県支部長表彰式」
- ★P.4 「高知県青少年赤十字研究大会・
NHK 海外たすけあい街頭募金」
- 「地域住民を守る災害救護救援研修会」
- ★P.5 <高知赤十字病院>
5/6(月・祝)新病院移転開院
- ★P.6-7 <高知県赤十字血液センター>
「新血液センター 南国市で始動！」
「はたちの献血キャンペーン」
- ★P.8 「3.11 私たちは、わすれない。」
「7月豪雨災害義援金」
「NHK 海外たすけあい救援金」
プレゼントクイズ

300人

6

1,809

8,843人

5,066人

110

「高知県支部にまつわる数字」を
並べてみました。

何の数字かわかりますか？
(詳細は次のページへ)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高知県支部にまつわる数字



第6班

高知県支部に設置の救護班数

1つの班は、通常医師、看護師、薬剤師、主事の計6~7名で構成され、災害が発生すると、順次被災地へ派遣され、救護所や避難所での診療など被災者に寄り添った活動を行っています。

毎年約40名の赤十字職員が救護員に任命され、4月に救護員任命式（写真）を行っています。



他にも、県民の皆様が多数参加される各種行事や大会、護国神社での祭事、マラソン等のイベント等に日赤の救護所を開設し、医師、看護師、バイクサポート奉仕団、安全赤十字奉仕団等による救護活動に協力させていただいている。

- 4月、11月護国神社大祭
- 11月日高茂平マラソン
- 2月高知龍馬マラソン（※）
- 3月テレビ高知健康マラソン

（※）マラソン参加費の一部を義援金としてご寄付いただいている。

8,843人

（平成30年12月末時点）

平成30年度高知県支部が実施した赤十字講習会を受講された受講者数

毎年多くの団体様よりたくさんのお申し込みをいただいている状況です。

希望候補日が決まりましたら、

お早めのお問い合わせをお願いします。

＜講習会に関する問い合わせ先＞

○高知県支部 事業推進課
電話 088-872-6295

300人

毎年4月に開催される
「赤十字パレード」の参加者数

5月の赤十字運動月間にさきがけて実施している「赤十字パレード」では、高知赤十字病院、血液センターの職員、および赤十字事業にご協力いただいている奉仕団員等に参加いただいています。今年も4月13日（土）14時よりひろめ市場から中央公園までをパレードします。



5,066人

高知県内で赤十字活動を
ご推進いただいている奉仕団員数

いわゆる「ボランティア」の方々を指します。活動内容・活動地域・構成者によって「地域赤十字奉仕団」、「青年赤十字奉仕団」、「特殊赤十字奉仕団」の三つの所属に分けられます。



写真上は大川村、
写真下は宿毛市での
炊き出し訓練の
様子



各地区の防災訓練時などにおいて、地域赤十字奉仕団による炊き出し等の活動をしているところもありますので、一度参加してみてはいかがでしょうか？



高知県支部に登録している個人および法人の会員数

「会員」とは、2,000円以上をご寄付いただいている方のうち、赤十字事業の趣旨を理解し、ご支持いただくことを意思表示いただいた方を指します。日本赤十字社法において、「日本赤十字社は社員(会員)をもって組織する」と規定されているとおり、会員数の増減は支部の消長に直結します。

ちなみに、全国の赤十字会員数は、個人12.3万人、法人6.8万いらっしゃいます。

1,809

個人・法人

110校・園

青少年赤十字(JRC)加盟校または幼稚・保育園数

将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中で、望ましい人格と精神を自らつくりあげることを目的とした事業です。自ら「気づき、考え、実行する」という自主・自律の態度目標に基づき、児童・生徒の発達段階や学校内外の実情に応じた活動に取り組んでいます。

※加盟にはお申し込みが必要です。

青少年赤十字(JRC)についてこちらから



10月
19(金)

平成30年度 高知県支部長表彰式 を行いました

平成29年度の活動資金募集にご貢献いただいた個人・団体および奉仕団活動にご功労いただいた方を表彰させていただきました。

○活動資金募集奉仕勤続10年以上の個人 20名(表彰状贈呈) (敬称略)

高知市 明神 美千恵 川田 恵子 黒石 郁代 柏原 弘美
島元 健三 猪野 智子 羽方 武男 宮地 桂子

安芸市 濱口 俊介 小原 祥子

南国市 澤村 豊 長崎 弘之

香南市 中内 明子 安藝 愛子

四万十市 宮下 すみ子 小松 和子

馬路村 樋口 知子 大野 良子

安田町 竹内 裕美 齋藤 良子



【平成30年度表彰者】

○平成29年度活動資金目標達成率120%以上の地区分区(表彰状贈呈)

2地区 安芸市地区 中央東地区

34分区 高知市(江ノ口 北街 布師田 大津 五台山) 室戸市(吉良川)

安芸市(穴内 井ノ口 土居 川北 江川 内原野 東川 伊尾木
下山 畑山 栃ノ木) 香南市(香我美町) 南国市(上倉南部 岡豊
長岡東部 岩村 日章 稲生 後免) 土佐清水市(下川口) 安芸
(奈半利町 安田町 北川村 馬路村 田野町) 中央東(大豊町
本山町 大川村)

○平成29年度活動資金目標達成率100%以上の地区分区(感謝状贈呈)

3地区 香南市地区、南国市地区、安芸地区

29分区 高知市(上街、小高坂、高知街、御畠瀬、鏡)、室戸市(佐喜浜、
羽根)、安芸市(安芸、黒鳥、赤野)、香南市(赤岡町、野市町)、
南国市(上倉北部 野田 前浜 三和 長岡西部) 土佐市(波介
北原) 須崎市(須崎 多ノ郷) 四万十市(蕨岡 西土佐) 宿毛市
(橋上) 土佐清水市(下ノ加江) 安芸(芸西村) 中央西(仁淀川町)
高幡(津野町) 幡多(三原村)

○特別表彰 (7月豪雨災害におけるボランティア活動を称え感謝状贈呈)

(7団体) 高知県立宿毛高等学校

安芸市赤十字奉仕団 高知高等学校

宿毛市赤十字奉仕団 高知県立安芸桜ヶ丘高等学校

大月町赤十字奉仕団 明徳義塾中学・高等学校



協力して泥をかき出す学生

12月

2(日)



青少年赤十字活動への理解を深めることを目的に、オーテピアにて開催されました。県内 JRC 加盟校のうち1園・4校から JRC メンバー29名、指導者8名が参加しました。各加盟校からは「防災劇」の上映や、日頃の取組の報告、本社主催の「国際交流集会」への参加報告などの発表が行われました。



講演の部では、NPO 法人福祉住環境ネットワークこうち理事長 笹岡 和泉様より「誰もが安心して暮らせるまちづくり」についてご講演いただきました。

また同日午後から行われた NHK 海外たすけあい街頭募金活動においては、JRC メンバー・指導者・奉仕団・支部職員の総勢 53名が4地点（中央公園北口ほか）に別れて募金活動を行い、募金額は合計 63,156 円となりました。集まった募金は、海外での救援事業や青少年の教育支援事業等へ大切に使わせていただきます。



青年奉仕団から街頭募金のお手本



グループごとに募金活動の練習



本番！ご協力ありがとうございました。

1月

12・14・27
(土)(月・祝)(日)

「地域住民を守る災害救護救援研修会」

開催報告

平成 31 年 1 月 12 日（四万十市）・14 日（高知市）・27 日（安芸市）、県主催の標題研修会を開催しました。今回の研修会は「災害時に特に配慮が必要な方（要配慮者）への理解を深め、対応を学ぶこと」を目的とし、3 会場で 233 名の方にご参加いただきました。

講演では自立生活センターアライズ 代表 村田 一平様に「避難所での要配慮者への支援」というテーマで、要配慮者が避難所で困ることや配慮すべき点、サポートする際のポイント等について、ご講演をいただきました。



また、後半は「身近にあるものを使った応急手当」や「みんなで考える災害時要配慮者への対応」についてグループに分かれて取り組み、実践を通して要配慮者への対応について学びました。

今後も皆様のお役に立てるような研修会を行ってまいります。



5月

6(月・祝)

高知赤十字病院は、新築移転開院します。



新病院 平成 31 年 2 月 21 日撮影

新病院では、広域的な災害拠点病院としての役割を果たすため免震構造とし、自家発電装置や給水設備など**非常用設備を強化**するとともに、**屋上ヘリポートを整備し、災害対応力、救急医療の充実**を図っています。また、専門外来、看護外来の充実のほか、**高知県初の女性専用フロアの開設**や疾患別のフロア構成を採用、各診療科の連携強化を図りシームレスで質の高い医療を提供することとしています。さらに、入退院手続きや相談対応などを一元化して行う**「患者支援センター」を開設**、患者さまをはじめ、当院を利用される皆さまの利便性の向上にも力を注いでいます。

新病院での外来診療は、
2019年5月7日（火）からとなります。

最新の新病院
情報は
こちらから



高知赤十字病院

問い合わせ先

電話 088-822-1201



救命救急センター外来は、
2019年5月4日（土）17:00～5月6日（月・祝日）08:00まで受け入れを中止し、
5月6日（月）08:00から新病院で受け入れを開始します。

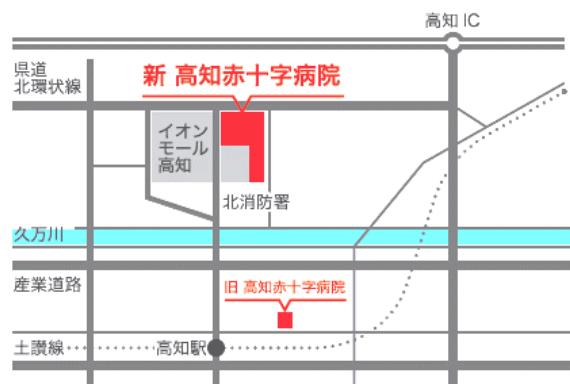
患者の皆さま、ご家族の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新病院概要

- ・病床数 402 床
- ・診療科 28 科
- ・敷地面積 約 28,000 m²
- ・階数・高さ 地上 8 階 42.5m
- ・構造種別 免震構造・SRC 造・一部 S 造
- ・駐車場 604 台（平面 348 台・立体 256 台）

新住所

〒780-8562
高知市秦南町一丁目
4 番 63-11 号





1月

28(月)

新血液センター 南国市で始動！

報告

高知キャラクター けんけつちゃん



竣工式では「希望の未来への出発」「災いを断ち切る」などの意味をこめてテープカットをおこなったっち！
後半には『餅投げ』をして、ご近所さんやたくさんの子供たちに喜んでもらえたっち！！

内覧会で参加者のみなさんが一番興味をもってくれたのが、この「大地くん」だっち！

「大地くん」は災害時などに近隣の方に開放し、500人が30日間使用できる大型トイレだっち！！



大型災害時用トイレ
「大地くん」



はたちの献血キャンペーン

“Connect to The future”



報告

献血キャラクター

けんけつちゃん

1月

14(月・祝)

イオンモール高知で「はたちの献血 “Connect to the future”」というイベントをおこないました！

このイベントは高知県、日本赤十字社高知県支部、高知県赤十字血液センターが主催し、若者を中心に広く国民各層に献血の必要性を知ってもらうために、毎年成人の日におこなっています。今年もたくさんの団体にご協力いただき、74名の方に400mL献血の受付をしていただきました。



一日所長委嘱式

今年成人式を迎える大学生に、同年代に献血の必要性を伝えてもらうため一日所長をしてもらいました。400mL献血にも初挑戦してくれました！



土佐おもてなし海援隊

今年も参加してもらいました！会場の盛り上げ完璧でした。献血の知識も職員級です！！



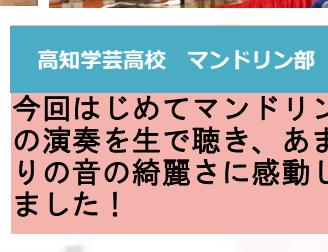
しゅしゅ

プロ顔負けの歌唱力と演奏！2ステージとも歌に引き寄せられたお客様でいっぱいでした！



高知中央高校 奇術部

初めて見るたくさんの本格的な手品に会場の全員がビックリ！まさか本物のハトが出てくるとは！！



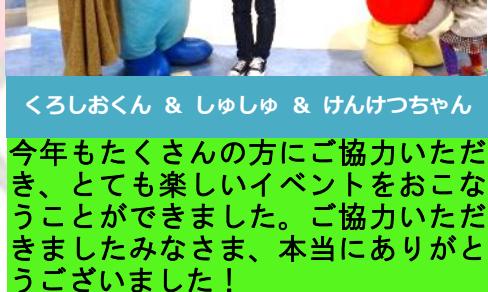
高知学芸高校 マンドリン部

今回はじめてマンドリンの演奏を生で聴き、あまりの音の綺麗さに感動しました！



学生ボランティアのみなさん

今年は、土佐中高等学校・土佐女子高等学校・山田高等学校・追手前高等学校・岡豊高等学校・丸の内高等学校・高知高等学校・医療工学専門学校から、なんと43名もの学生ボランティアのご協力をいただきました！



くろしおくん & しゅしゅ & けんけつちゃん

今年もたくさんの方にご協力いただき、とても楽しいイベントをおこなうことができました。ご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました！

3月

10(日)

私たちは、 わすれない。

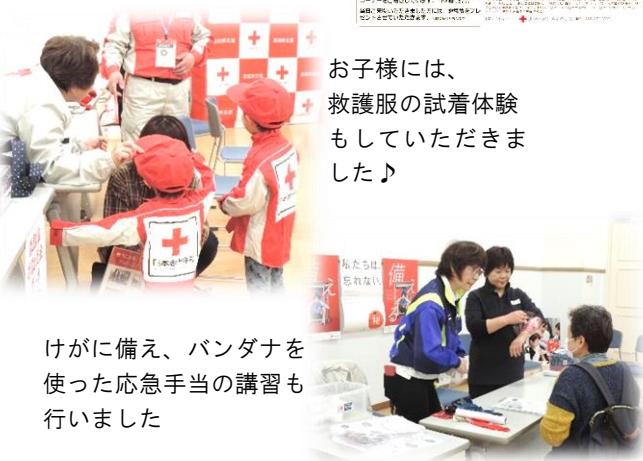
来場者数 450 名

今年で 6 回目となる「3.11 防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～」をイオンモール高知にて開催しました。昨年は高知県内においても一部地域で豪雨の被害があり、防災・減災について、改めて県民の皆様に考えていただく機会になればと思い、

「備える」をテーマに開催しました。また、来場者には、「3.11 バッジ」と非常食をお渡しさせていただきました。



お子様には、
救護服の試着体験
もしていただきました♪



けがに備え、バンダナを使つた応急手当の講習も行いました

7月豪雨災害支援金

70,424,509円 (2月末時点)

「高知県災害見舞金配分委員会」を通じて、
義援金は全て被災者の方へ届けられます。



プレゼント クイズ

Q：現在高知県内の奉仕団員数は何人でしょうか？

①1,809 人 ②5,066 人 ③8,843 人

応募方法：① お名前 ② ご住所 ③ 年齢 ④ プレゼントクイズの答え
⑤普段お持ちの「日赤のイメージ」についてご記入の上、下記宛先まで
郵送またはメールで 2019 年 6 月 30 日 (日) までにご応募ください。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

宛先：〒780-0850 高知市丸の内 1-7-45 総合あんしんセンター 1 階

日本赤十字社高知県支部「ふれあい」プレゼント係

メールアドレス：somu@kochi.jrc.or.jp

前号（ふれあい49号）の答え

③JRC

■非常持ち出し品を準備しよう

大きな災害が起きると、電気や水道、ガスなどが使用できなくなる場合や避難所での生活を余儀なくされる場合があります。

また、救助や救援物資の到着までに時間がかかりますので、最低限必要なものは、各自で予め準備しておきましょう。

非常持ち出し品リスト（一次持ち出し品）の参考例



☞ 非常時持ち出し品は、避難の妨げに

ならないように、コンパクトにまとめよう。

☞ 避難の長期化を想定して、一次持ち出し品に加えて、数日分生活するために必要な非常備蓄品（二次持ち出し品）も準備しておきましょう。

日頃から準備しておくものは何だろう？

☞ 自分に必要なものの優先順を考えよう！

NHK海外たすけあい救援金

全国受付分 76,860 件 6 億 3609 万 5488 円

高知県受付分 925 件 3014 万 84 円

毎年 12 月に、「世界各地で多発する大規模災害や紛争に伴う緊急救援や開発途上国や災害常襲地への開発協力などを実施するための救援金の募集を行っています。

3.11 バッジと
レスキューフーズ
株提供の非常食
「まさか飯」を
セットで 5 名様に
プレゼント



おかげさまで広報誌「ふれあい」も第 50 号の発刊を迎えることができました。今後とも、日赤の活動を身近に感じていただけますよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

